

平成29年11月30日公表

## 生産者の米穀在庫等調査（平成29年6月末）

－ 農家1戸当たりの米の6月末在庫量（精米を除く。）は316kg －

### 【調査結果】

平成29年6月末における農家1戸当たりの米の在庫量は326kgとなり、このうち精米を除く在庫量は316kgとなった。

表 農家1戸当たり6月末在庫量（全国）

区分	平成28年6月末		平成29年6月末		前年同月との比較			
	kg	精米を除く	kg	精米を除く	対差	精米を除く	増減率	精米を除く
		kg		kg				
全国	313	299	326	316	13	17	4.2	5.7

- 注：1 在庫量とは、農家が保管している主食用の米穀（うるち米及びもち米）の量をいい、販売予約済又は手付金受領済のものであって、現品を当該農家以外の者に引き渡していないものを含む。  
2 在庫量は、玄米換算した数値である。

◎ 調査結果の利活用

「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」における米穀の需給見通しの策定のための資料等に利用。

◎ 関連データ

水稲（主食用）の作付面積及び収穫量の動向（全国）

年 産	主食用作付面積	収穫量（主食用）
	ha	t
平成22年産	1,580,000	8,239,000
23	1,526,000	8,133,000
24	1,524,000	8,210,000
25	1,522,000	8,182,000
26	1,474,000	7,882,000
27	1,406,000	7,442,000
28	1,381,000	7,496,000

資料：農林水産省統計部『作物統計』

## 【統計表】

## 農家1戸当たり6月末在庫量（全国・都道府県別）

全 国 都道府県	平成28年6月末		平成29年6月末		前年同月との比較				集計戸数 戸
	精米を除く		精米を除く		対差	精米を除く	増減率	精米を除く	
	kg	kg	kg	kg					
全 国	313	299	326	316	13	17	4.2	5.7	2,545
北 海 道	654	627	733	701	79	74	12.1	11.8	189
青 森	345	318	326	317	△ 19	△ 1	△ 5.5	△ 0.3	81
岩 手	316	304	312	301	△ 4	△ 3	△ 1.3	△ 1.0	82
宮 城	388	370	355	345	△ 33	△ 25	△ 8.5	△ 6.8	106
秋 田	205	195	278	264	73	69	35.6	35.4	148
山 形	279	267	302	285	23	18	8.2	6.7	99
福 島	364	349	399	398	35	49	9.6	14.0	122
茨 城	298	289	338	325	40	36	13.4	12.5	115
栃 木	323	310	358	347	35	37	10.8	11.9	101
群 馬	420	403	432	398	12	△ 5	2.9	△ 1.2	29
埼 玉	286	266	391	382	105	116	36.7	43.6	53
千 葉	309	300	354	347	45	47	14.6	15.7	93
東 京	287	278	291	286	4	8	1.4	2.9	24
神 奈 川	278	268	322	314	44	46	15.8	17.2	16
新 潟	327	300	300	287	△ 27	△ 13	△ 8.3	△ 4.3	183
富 山	183	168	200	189	17	21	9.3	12.5	46
石 川	258	243	247	230	△ 11	△ 13	△ 4.3	△ 5.3	39
福 井	272	264	339	333	67	69	24.6	26.1	38
山 梨	209	198	356	342	147	144	70.3	72.7	18
長 野	292	280	311	302	19	22	6.5	7.9	50
岐 阜	342	335	281	275	△ 61	△ 60	△ 17.8	△ 17.9	37
静 岡	463	451	480	468	17	17	3.7	3.8	34
愛 知	367	352	382	363	15	11	4.1	3.1	47
三 重	312	295	269	248	△ 43	△ 47	△ 13.8	△ 15.9	48
滋 賀	245	241	322	321	77	80	31.4	33.2	53
京 都	400	384	347	336	△ 53	△ 48	△ 13.3	△ 12.5	28
大 阪	301	281	297	286	△ 4	5	△ 1.3	1.8	17
兵 庫	303	292	310	302	7	10	2.3	3.4	61
奈 良	210	193	340	328	130	135	61.9	69.9	15
和 歌 山	213	212	131	126	△ 82	△ 86	△ 38.5	△ 40.6	17
鳥 取	325	316	328	326	3	10	0.9	3.2	26
島 根	269	264	210	203	△ 59	△ 61	△ 21.9	△ 23.1	33
岡 山	357	347	287	286	△ 70	△ 61	△ 19.6	△ 17.6	56
広 島	368	359	367	363	△ 1	4	△ 0.3	1.1	41
山 口	293	279	314	310	21	31	7.2	11.1	37
徳 島	196	186	168	163	△ 28	△ 23	△ 14.3	△ 12.4	22
香 川	149	128	155	152	6	24	4.0	18.8	26
愛 媛	284	284	292	284	8	0	2.8	0.0	24
高 知	235	230	308	305	73	75	31.1	32.6	19
福 岡	313	301	294	284	△ 19	△ 17	△ 6.1	△ 5.6	53
佐 賀	407	377	407	385	0	8	0.0	2.1	25
長 崎	361	340	365	341	4	1	1.1	0.3	23
熊 本	357	347	412	401	55	54	15.4	15.6	57
大 分	301	292	300	290	△ 1	△ 2	△ 0.3	△ 0.7	37
宮 崎	225	215	240	240	15	25	6.7	11.6	27
鹿 児 島	295	280	307	295	12	15	4.1	5.4	31
沖 縄	116	109	86	80	△ 30	△ 29	△ 25.9	△ 26.6	19

## 【調査の概要】

### 1 調査の目的

生産者の米穀在庫等調査は、生産者の米穀の在庫量、供給量、消費量、販売量等の実態を把握し、米穀の需給及び価格の安定を図る観点からの食料行政の円滑な遂行等、各種行政施策の推進のための資料を整備することを目的とする。

### 2 調査の対象

本調査は、2015年農林業センサス結果に基づく農業経営体のうち、販売目的で水稻を10アール以上作付けた販売農家（以下「農家」という。）を対象に実施した。

### 3 調査対象農家の選定方法及び抽出方法

#### (1) 標本の大きさ及び標本配分

平成25年度から平成27年度までの本調査における全国の脱穀量を指標とした目標精度（標準誤差率）を0.5%として、必要な標本の大きさ（調査対象農家数）を算出し、その算出した調査対象農家数を水稻作付面積規模別の階層ごとに最適配分し、さらに都道府県別の階層の大きさに応じて比例配分した。

なお、都道府県ごとの標準誤差率が8%を超える場合には、8%になるまで調査対象農家数を追加した。

#### (2) 標本抽出

2015年農林業センサス結果で調査の対象に該当した農家を、都道府県別及び水稻作付面積規模別に階層区分し、水稻作付面積により昇順に配列したリストを作成し、その作成したリストを(1)で配分した当該階層の調査対象農家数で等分し、等分したそれぞれの区分から1戸ずつ無作為に抽出した。

その結果、調査対象農家数は2,548戸となった。

### 4 集計農家数

2,545戸

### 5 調査事項

月初在庫量、供給量、消費量、販売量、月末在庫量等

### 6 調査期日

毎月末現在

### 7 調査方法

調査員が調査対象農家に対して調査票を配布・回収する自計調査の方法及び調査票を郵送により配布・回収する自計調査の方法により行った。

### 8 集計方法

集計は、各都道府県を階層として、各調査項目における1戸当たり平均値を次式により算出した。

< 1戸当たり平均値の算出方法 >

$$\bar{x} = \frac{\sum_{i=1}^n w_i x_i}{\sum_{i=1}^n w_i}$$

- $\bar{x}$  : 当該都道府県における1戸当たり平均値の推定値  
 $x_i$  : 当該都道府県に属する*i*番目の集計農家の調査結果  
 $w_i$  : 当該都道府県に属する*i*番目の集計農家のウエイト  
 $n$  : 当該都道府県に属する集計農家数

各集計農家に乗ずるウエイトは、都道府県別に区分した階層ごとに次式により算出した標本抽出率（階層の大きさに対する集計農家数の比率）の逆数とした。

$$\text{標本抽出率} = \frac{\text{当該階層から抽出した集計農家数}}{\text{2015年農林業センサス結果による当該階層の大きさ（農家数）}}$$

## 9 用語の解説

在庫量とは、農家が保管している主食用の米穀（うるち米及びもち米）の量をいい、販売予約済又は手付金受領済のものであって、現品を当該農家以外の者に引き渡していないものを含む。

## 10 利用上の注意

- (1) 表中に使用した記号は、次のとおりである。  
「0」、「0.0」：増減がないもの  
「△」：減少したもの
- (2) この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「生産者の米穀在庫等調査（平成29年6月末）」（農林水産省）による旨を記載してください。

## 11 その他

年度初在庫量、年度末在庫量、年間供給量、年間販売量、年間消費量等については、平成30年7月に公表する予定である。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

### 【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「米（消費）」の「生産者の米穀在庫等調査」で御覧いただけます。

【 [http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kome\\_zaiko/index.html#y2](http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kome_zaiko/index.html#y2) 】

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

経営・構造統計課 分析班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3635

電話：(直通) 03-6744-2042

FAX： 03-5511-8772

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3589

電話：(直通) 03-6744-2037

FAX： 03-3501-9644



**政府統計**

政府統計の総合窓口  
(e-Stat)

<http://www.e-stat.go.jp/>